

各位

公益財団法人 SBI 子ども希望財団
理事長 世耕 久美子

SBI子ども希望財団 2024年度 英語教育支援プログラムのご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当財団では、2014年度より SBI 英語教育支援プログラムのご提供を開始し、多くの施設からお申込みをいただき、現在もたくさんの児童の皆さんが英語学習に取り組んでいます。ぜひ、2024年度も本プログラムのご活用を推進していただきたく、お願い申し上げます。

【2024年度 英語教育支援プログラム 募集要項】

1. 目的及びプログラム提供要旨

近年、児童養護施設を退所した人を対象にしたアンケート結果によると、毎月の収入が 15万円以下の人が 43%、生活保護などの公的扶助で暮らしている若者も 全体の4分の1近い23.5%にのぼっていました。また、中卒後就職した子どもが最初の半年で 約40%が離職し、高卒後就職した子どもは半年で 約20%、1年以上で 約40%以上の子どもが離職していることが明らかになりました。

このように、児童養護施設を退所した後において自立という点で厳しい生活状況におかれた若者が多いことがわかります。そして離職に及ぶ原因の80%以上が何らかの対人不調、つまりコミュニケーション能力の不足によるものと推測されます。

また、国際化が加速する中で、英語スキルを持った若者の雇用に切望する企業は益々増加し、世界共通語である英語の必要性は益々高まることが予想されます。

今回の SBI 子ども希望財団英語教育支援プログラムは児童養護施設の子どもたちに英語学習を通じて、コミュニケーション能力の向上と自信と自己探求意欲を持つことに繋げて、最終的に英語スキルを通じて自立（労働）の支援となり、将来の夢や希望を持つ機会の創出の一助になることを期待するものです。

2. 支援内容

希望する児童養護施設に対して、下記をご提供させていただきます。費用は SBI 子ども希望財団が負担いたします。

- ① 英会話カルタ（1施設につき3セットまで） 100施設
- ② 「公文式英語学習」の月会費・E-pencil代（小・中学生対象） 100名
- ③ SBI オンライン英会話クラブ（1施設につき3名以上8名まで） 5施設

上記のいずれかの申込みをした施設（過去に本プログラムの教材を申込みした施設も含む）を対象に、リンク・インタラックグループと共催で実施する「SBI イングリッシュキャンプ」へご招待いたします。詳細及び申込方法は紹介資料をご参照下さい。また、高校生を対象とした「SBI 海外体験プログラム（※）」への申込資格を得ることができます。

（※）2024年度に初めて本プログラムの申込をされた施設様は次年度以降に対象とさせていただきます。

3. 申込方法

SBI 子ども希望財団ホームページに掲載中のWEBフォームよりお申込み下さい。
(<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan>)

SBI 子ども希望財団ホームページ中段にある「2024年度SBI英語教育支援プログラムのご案内」をクリックしていただき、各申込ページにお進み下さい。

※予定数を超えた時点で締切とさせていただきます。(先着順)

4. その他

予定数を超えた場合にはお断りさせていただく場合があります。また、当財団の都合、天災地変等により、当プログラムの実施が困難な場合は、実施可否を再考させていただく場合があります。教材の施設外への流用、悪用及び当プログラムの円滑な実施を妨げる恐れがあると当財団が判断する場合、教材の提供、キャンプへの参加をお断りする場合があります。また、本プログラムお申込みの施設様には、アンケートのご記入をお願いすることがございますので、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

財団からのお知らせ



2024年度SBI英語教育支援プログラムのご案内

本件についての問い合わせ先 (受付時間：平日 AM10:00～PM5:00)
〒106-6019 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー19F
公益財団法人 SBI 子ども希望財団
TEL：03-6229-1003 FAX：03-3582-0686
E-mail：sbichildren@sbigroup.co.jp

① 英会話カルタ

募集概要

募集：100施設

1施設につき3セットまで（1巻～5巻、音声CD付き）提供

推奨対象：幼児・小学校低学年～

これまでに274施設
にご提供

申込方法

公益財団法人SBI子ども希望財団ホームページ (<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan>) に掲載している

「SBI英語教育支援プログラムについて」のページにて [英会話カルタのお申込はこちら](#) をクリックし、申込ウェブフォームからお申込み下さい。お申込み受付後、発送の手続きをさせていただきます。

※過去にカルタをお申込みいただいた施設で、追加でご希望の場合は、申込フォームの備考欄に理由をご記入の上お申し込み下さい。

教材紹介

京都府舞鶴市の鷺田マリさん考案の英会話カルタです。日常的な英単語や英熟語をカルタにしてあり、**遊びながら英語に触れることができます**。「あ」～「わ」の絵札と字札がそれぞれ4枚ずつ、1巻から5巻まであります。これだけで**220個もの英単語・熟語を覚えることができます**。

付属のCDには、字札（日本語）→絵札（英語）の順番で**音声**が収録されており、子どもたちにとっても覚えやすい内容となっています。

また、カルタには**英会話カルタの使い方**も同封していますので、どうぞお気軽にお申込みください。

マリさんの英会話カルタ1巻～5巻が**YouTube**にて公開されています。“マリさんの英会話カルタ”と検索してご覧ください。またSBI子ども希望財団ホームページでもご紹介映像を掲載しています。



舞鶴市の幼稚園では、このカルタを使った英語学習の取り組みをされているところもあり、子どもたちもとても楽しそうに取り組んでいました。覚えやすい内容とリズムで、子どもたちは丸暗記して英単語・熟語を口にしていました。



この英会話カルタは、カルタ遊びはもちろん、CDを聞いて覚えた単語・熟語をクイズ形式で出してみる等、いろいろな使い方があります。まずは英語に触れてみるところから始めたい、という時にぜひ活用していただければと思います。

施設内での余暇に
ぜひご活用下さい

② 公文式英語

募集概要

募集：100名

対象：小学生・中学生

期間：公文の英語の会費を最長3年間支援

学習方法：最寄りの公文教室で「公文式英語」を学習できます。

これまでに100施設
566名が受講

申込方法

公益財団法人SBI子ども希望財団ホームページ (<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan>) に掲載している「SBI英語教育支援プログラムについて」のページにて [公文式英語のお申込はこちら](#) をクリックし、申込ウェブフォームからお申込みください。

SBI子ども希望財団にて受付後、公文式英語の事務手続き等についてご連絡（メール）をさせていただきます。その後、公文教室にて入会手続きをお願いいたします。

- ご希望の公文教室を決めてからお申込み下さい。申込み前に見学や体験学習をされても構いませんが、上記ウェブフォームでSBIに申込・受付後に、公文教室へ正式な入会手続きをお願いいたします。
- 申込みには、施設名や住所、担当者名、受講希望教室名、受講希望児童の氏名・性別・学年のご入力が必要です。個人情報の取り扱いについては、WEBフォームご入力時にご確認をお願いいたします。
- お申込みは、原則として1施設5名までとさせていただきます。
- 公文会費は施設様にてお立替をお願いいたします。後日、お立替いただいた会費をまとめて施設様にお振込みいたします。

教材紹介

公文の英語についての詳細は [KUMONホームページ](#) をご覧ください

公文式の英語学習 | 公文教育研究会

<https://www.kumon.ne.jp/eigo/index.html?lid=4>

※お近くの公文教室をお探しの場合は、公文のホームページから検索できます。



～公文教室に通った児童について、施設の職員様からいただいたご感想をご紹介します～

- ・英語を得意科目にして、英検などの資格にも合格して自信がついた。
- ・決まった曜日、時間に勉強をする習慣が身に付き、学校の勉強や各種検定にチャレンジする意欲作りの場になった。
- ・英語はもちろんのこと、他の学習にも意欲的に取り組むようになった。
- ・小学校の授業でも「英語を頑張る」と宣言するなど本人の大きな自信になっている。
- ・毎日の積み重ねで力をつけるスタイルの公文式は、生活習慣を整えることが大切な施設の子ども達にとっても合っていて、勉強も生活も整う理想的な学習支援になると思った。
- ・昨年英語検定5級に合格し、本人もとても喜んでいて。次は4級に挑戦したいと、今現在も頑張っている。
- ・生活が施設の中で完結されることが多いため、地域に出て色々な経験の機会が増えた。
- ・当初は行き渋りも見られたが、通う事でレベルアップし評価してもらえることに喜びを感じ楽しんで通う事が出来た。
- ・公文を利用するようになって、時間を意識して行動するようになった。
- ・楽しく英語を学習する一方で内容もしっかり学ぶことが、公文の英語で身につけている。

③ SBI オンライン英会話クラブ

募集概要

募集：5施設

参加人数：1施設につき原則3名以上8名まで

対象：小学生～高校生

条件：インターネット及びZoomの使用環境があること

月1回、外国人講師がオンライン(Zoom)で、ゲーム等をしながら楽しくレッスンを行います！

申込方法

公益財団法人SBI子ども希望財団ホームページ (<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan>) に掲載している

「SBI 英語教育支援プログラムについて」のページにて **SBI オンライン英会話クラブのお申込はこちら** をクリックし、申込ウェブフォームからお申込みください。

お申込み受付後、参加可否等詳細についてご連絡いたします。

先着順

プログラム紹介

【実施内容】

- 外国人講師（1～2名程度）がオンライン（Zoom）を利用して、子ども達とゲーム等で楽しみながら英語に触れる機会を提供します。（協力元：(株)リンク・インタラック（※））
- 1時間程度のプログラムを月1回（年10回）実施予定です。**

～プログラム例～ 季節イベントを素材にした英語コミュニケーション、自己紹介の練習 など

【実施期間】

2024年5月もしくは6月～2025年3月（12月を除く）（予定）

【参加条件】

- 小学生以上高校生までの、英語学習に積極的に取り組んでいる児童、または英語学習に興味のある児童
- 参加人数は原則3名以上最大8名まで**

【その他】

- 本プログラムの講師派遣にかかる費用はSBI子ども希望財団が負担します。
- 施設様には、Zoomが利用できる機器（インターネットに接続されたパソコンやタブレット、ウェブカメラ、スピーカー）をご用意いただきます。機器やインターネット接続料に関する費用は当財団では負担いたしませんので、予めご了承下さい。
- 講師の指名はできませんのでご了承ください。（毎回違う講師が担当する場合があります）

（※）株式会社リンク・インタラック

東京都中央区銀座四丁目12番15号 Tel：03-6853-8265 HP：<https://www.interac.co.jp/>

【事業領域】学校向けALT配置事業、法人向け語学研修事業、人材紹介・派遣事業、その他外国語関連教育事業

「SBI オンライン英会話クラブ」では、外国人講師が実際に英語を使う機会を提供することで、英語学習に対する興味やモチベーション、教材学習の継続意欲をサポートすることを目的としています。

これまで本財団は、(株)リンク・インタラックと協力し、外国人講師が直接施設を訪問してレッスンを行う取り組みを行っており、参加した施設からは、子ども達の英語への興味が増す等の効果が見られ、英語学習のサポートのみならず、潜在的なコミュニケーション能力を引き出すことができたり、喜びや自信を持つ経験ができたりと、子ども達の世界が広がるきっかけになったという嬉しい声を聞くことができました。

「SBI オンライン英会話クラブ」は、施設と外国人講師をZoomで結び、オンライン上で楽しく交流できる場として計画いたしました。募集数に限りがございますが、ぜひお申込みいただければ幸いです。ご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。

予告

SBI イングリッシュキャンプ

カルタ・公文のいずれかの申込みをした施設（過去に本プログラムの教材を申込みした施設も含む）を対象に、リンク・インタラックグループと共催で実施する「SBI イングリッシュキャンプ」へご招待いたします。（参加費、交通費はSBI子ども希望財団が全額負担）

【開催日程】2024年8月5日（月）～8月7日（水）2泊3日

【開催場所】東京都内（予定）

【募集人数】50名（同行施設職員を除いた人数）

※キャンプ詳細・参加募集につきましては、4月以降に別途ご案内致します。

※英語学習に積極的に取り組んでいる児童、または英会話を身に付けたいと意欲のある児童に参加いただきたいと考えています。

※原則として、1施設1名の職員の方にご同行いただきます。

※参加希望者多数の場合は施設毎の抽選により参加者を決定いたします。

【申込方法】2024年4月以降に対象の施設様に郵送にてご案内します。また、SBI子ども希望財団ホームページにも掲載し、申込ウェブフォームにて応募していただく予定です。

イングリッシュキャンプの様子（2023年の場合）

1日目	開会式
	ワールドツアー
2日目	東京都庁見学
	チームゲーム
	マリさんの英会話カルタ大会
3日目	キャンプのTシャツ作り
	キャンプの表彰と閉会式

いろいろな国の外国人講師が多数参加しました



みんなで工作やゲームも楽しみました

東京都庁見学にも行きました

☆☆～ 引率職員様の感想を一部ご紹介します ～☆☆

- ◆英語が喋れなくても頑張って相手に伝えようとする気持ちがあり、英会話学習は勿論、コミュニケーション力そのものが身に付いたと思う。
- ◆英語で会話をすることの楽しさや、英語が上手くできなくとも伝えようとする気持ちやとにかく参加してみるという自発的な行動が見られて良かった。
- ◆英語の習得だけではなく、他者とのコミュニケーション、他者と協力しながら課題に取り組みやり遂げること等、施設の子も達が苦手とするところをプログラムに入れて頂き、子ども達にとっても良い経験になった。
- ◆公文で習った英語を実際に使う機会はなかなかないので、とても良い経験になった。積極的に英語を話す姿が見られ、嬉しく感じた。
- ◆初めての参加だったが園とは違う子どもの生き生きとした姿を見て経験、体験の大切さを改めて感じた。
- ◆英語学習はもちろんのこと、他施設の子もたちとの交流、飛行機の搭乗体験や東京の散策体験も出来て、人生初めての経験は子どもたちにとっては喜びと成長の良い機会となった。
- ◆子ども達が貴重な経験ができるのはもちろん、引率職員も子どもの新たな可能性を考えさせられ、とても良い経験だった。
- ◆帰園後、英語の単語帳を開く姿がみられるなど英語への興味、海外の人とコミュニケーションを取りたいという気持ちが芽生えている。